

<Japan Private Equity Conference in 東京（ライブ配信）>

『プライベート・エクイティと ESG』出版記念シンポジウムのご案内

謹啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。この度、2021年12月に株式会社きんざいから刊行予定の『プライベート・エクイティと ESG』の出版を記念して、Japan Private Equity Conference in 東京を開催することになりましたのでご案内させていただきます。

近年、日本のプライベート・エクイティ市場が大きく成長しています。また、日本において ESG に関する議論が進展するなかで、プライベート・エクイティ・ファンドの投資活動における ESG 要素の考慮についての議論が開始されており、投資先企業の持続的成長を意識した取り組みの強化が行われています。日本のバイアウト・ファンドが投資先企業の ESG 経営の推進をサポートするケースも出てきており、非上場の中堅・中小企業にとっても心強い味方となっています。そこで、本シンポジウムでは、プライベート・エクイティ領域の ESG の実務について解説し、ベストプラクティスを目指して課題や将来展望についての討論を行います。プライベート・エクイティ領域の実務に従事するプロフェッショナルの方々にご参加賜れば幸いです。

開催要領

【日時】

2021年12月22日（水）13:00~18:40（ライブ配信にて開催）

【参加費】

1名 28,000円（税込）

- ・申込者には、12月20日（月）までに、視聴用 URL・ID・パスワードが記載された「参加票」をメールにて送信させていただきます。万が一、それまでにメールが届かない場合は下記お問い合わせメールアドレスまでご一報願います。
- ・資料一式は、12月20日（月）を目途に、ご登録頂きました住所に郵送させていただきますが、印刷の進捗状況、天候、交通事情、配送状況、その他昨今の情勢によっては到着がセミナーの開催後になる可能性もございます。資料は視聴画面にも適宜投影されます。
- ・ライブ配信のみで事後配信はございません。ライブ配信は、Vimeoによるストリーミング配信となります。

【参加対象】

- 金融機関（大手銀行、信託銀行、地方銀行、信用金庫、証券会社、保険会社、ノンバンク）の LP 投資担当者、LB0 ファイナンス担当者、審査担当者、ESG・サステナビリティ担当者、総合企画担当者
- 機関投資家、アセット・マネジメント会社の ESG・サステナビリティ担当者
- プライベート・エクイティ・ファーム（バイアウト、メザニン、ベンチャー、セカンダリー、ファンド・オブ・ファンズ）
- M&A アドバイザー、ESG コンサルタント、人材エージェント、弁護士、会計士、税理士
- 事業会社の CSR・ESG・サステナビリティ担当者、経営企画・M&A 担当者

【注意事項】

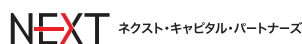
- ・本シンポジウムの視聴は申込者本人のみに限定させていただきます。
- ・視聴 URL の転送、ID・パスワードの共有、撮影、録音、録画の行為は一切禁止とさせていただきます。
- ・本シンポジウムに関する事項を Web（ブログ、Twitter、Facebook を含む）などの媒体に書き込むことも禁止とさせていただきます。

Lead sponsors



アセットマネジメントOne
オルタナティブインベストメンツ株式会社

Co-sponsors



主催：株式会社日本バイアウト研究所 協力：株式会社きんざい
URL: <http://www.jbo-research.com/>

【お問い合わせ先】 jbori@jbo-research.com（担当：杉浦）

プログラム

刊行の背景とマーケット・レビュー (13:00-13:25)

株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

基調講演 (13:25-14:05)

テーマ: “Responsible M&A” ~バイアウト取引における ESG 要素の考慮とエグジット時の「責任」~

株式会社 KPMG FAS 代表取締役パートナー 岡田光氏
有限責任あずさ監査法人 ディレクター 土屋大輔氏

<概要>

バイアウト取引において ESG を体系的に考慮すべきとの機運が高まる一方で、エグジット時にも投資していた企業がサステナブルであることを求める動きが出始めている。これらに共通するのはバイアウト取引における「責任」のあり方である。本講演では、昨今のバイアウト取引における ESG の取り組みとその展望を概観するとともに、「責任」ある投資とエグジットについて考察する。

プレゼンテーション (14:05-14:35)

テーマ: プライベート・エクイティ・ファンドとの ESG 協働 ~投資価値向上のためにゲートキーパーが果たすべき新たな役割~
イー・アイ・キャピタル株式会社 執行役員副社長 國分基弘氏

<概要>

本プレゼンテーションでは、機関投資家のゲートキーパーとしてプライベート・エクイティ・ファンドへの投資を行うイー・アイ・キャピタルが現在推進している ESG インテグレーションの取り組みについて、責任投資ポリシーにも触れつつ紹介するとともに、特に国内のプライベート・エクイティ・ファンドの活動における ESG の意義と課題および今後の展望について考察する。

休憩 (14:35-14:45)

事例紹介① (14:45-15:15)

テーマ: サステナブルな社会を築くためにプライベート・エクイティ・ファンドができること ~コスモライフへの投資事例と新ファンド構想~

株式会社アドバンテッジパートナーズ 代表取締役 シニア パートナー 喜多慎一郎氏
株式会社アドバンテッジパートナーズ パートナー 鈴木圭一氏

<概要>

「我々はファンド投資先企業を、ファンドから離れた後も強く競争力を保ち、地球環境問題や社会的課題の解決に貢献しながら永続的に成長する企業へと発展させる」。これがアドバンテッジパートナーズの理念である。本プレゼンテーションでは、投資先選別における ESG チェックリストの運用から、投資先企業の経営における SDGs に向けた取組の現状を紹介するとともに、再生エネルギー・サステナビリティに特化した新ファンド構想について語る。

事例紹介② (15:15-15:45)

テーマ: 中堅企業の持続可能性と価値向上に向けた挑戦 ~フェニックスインターナショナルの新たなアパレル OEM/ODM の形~

アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 プリンシパル 岩田周子氏
Ant Global Partners (HK) Limited 代表取締役兼マネージングパートナー John H. M. Cheuck 氏

<概要>

アパレル業界では「環境負荷、人権問題などの ESG 課題」、「コロナ禍による消費落ち込み」、「ニーズの多様化への対応」などのさまざまな向かい風を受け、大きな転換が求められる時期にある。ここでは、アパレル OEM/ODM 企業がプライベート・エクイティ・ファンドによる支援を得ながら、これら逆境に立ち向かうべく新たなビジネスモデルを構築し、企業の発展へとつなげる取り組みを紹介する。

休憩 (15:45-15:55)

パネルディスカッション① (15:55-17:05)

テーマ: バイアウト・ファンドにおける ESG 実践の理想と現実 ~日本でのベストプラクティスを目指して~

株式会社アドバンテッジパートナーズ チーフ・アドミニストレーティブ・オフィサー 馬場勝也氏
インテグラル株式会社 パートナー 二井矢聡子氏
CLSA キャピタルパートナーズジャパン株式会社 エグゼクティブディレクター 桑木翔太氏
司会者 キャピタル・ダイナミクス株式会社 プリンシパル 寺竹成史氏

<概要>

日本のバイアウト・ファンドにおいても、近年、投資やレポートのプロセスの中で ESG を実践するさまざまな動きや試みが広がっている。一方、年々、求められる ESG 取り組みの期待水準も高まっている。本セッションでは、バイアウト・ファンドの GP 各社が ESG 実践を進めるなかで直面する理想と現実のギャップを共有し、その対応策や日本でのベストプラクティスのあり方を議論する。

休憩 (17:05-17:15)

パネルディスカッション② (17:15-18:25)

テーマ: 日本のプライベート・エクイティ・ファンドの ESG 推進に向けて ~GP と LP の協働とあるべき姿の追求~

イー・アイ・キャピタル株式会社 代表取締役社長 CIO 佐村礼二郎氏
アセットマネジメント One オルタナティブインベストメンツ株式会社 プライベート投資部長 齋藤大彰氏
MCP アセット・マネジメント株式会社 プライベートエクイティ投資運用部 シニア・アドバイザー 深沢英昭氏
司会者 株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

<概要>

日本のプライベート・エクイティ・ファンドの ESG の実務の確立に向けて LP が果たす役割も重要になると予想される。そこで、本セッションでは、GP が ESG の推進体制を整備するうえでの LP との協働とあるべき姿について考察しつつ、日本のプライベート・エクイティ領域の ESG 実務の確立に向けた将来展望について議論する。

クロージング・スピーチ (18:25-18:40)

テーマ: 日本のプライベート・エクイティ法務の新たな展開 ~ESG の視点から~

長島・大野・常松法律事務所 弁護士 清水啓子氏
長島・大野・常松法律事務所 弁護士 服部紘実氏

* 本プログラムの内容は予告なく変更される場合がありますので予めご了承願います。